

同窓会報

No.76

編集発行

三重県立
四日市高等学校
同窓会

四日市市茂福65
TEL<059>365-3631

印刷

㈱東海フォトデザインシステム



親子三代

同窓会副会長 藤原和彦

(四高54年度卒)

平成19年の春、長男の入学式のため久しぶりに四日市高校の門をくぐりました。そのあと3年間、PTAの関係で幾度となく母校を訪れる機会がありましたが、息子の卒業と同時にそれも終わりました。それからは母校を訪ねることもなくなり、今度はおつばら校庭の横を素通りして同窓会館へ伺うことになりました。一昨年亡くなった父は、私・長男と親子3代に渡って四日市高校の同窓であることを大変喜び、誇らしく思っておりました。

私の高校生時代というと部活動のために学校へ通っていたよ
うなもので、朝から教室へ行く前に部室へ行き、放課後も部室から校庭を横断して駅へ向かっていました。中学時代に吹奏楽部でトランペットを吹いていた私は、中学の同級生数人と高校入学式前から練習に入れてもらい、4月の新入生歓迎会ではすでに先輩方に交じってステージで歓迎演奏をしました。教室よりも先に部室へ通っていたという事です。コンクールや四高祭、歳末助け合い音楽会、アンサンブルコンテストなどに向けて仲間と練習に励み、ステージで演奏したことは今でもよく覚えています。

学年としては幹事会に毎年何度かは集まり、4年に一度は同級会を行っています。一昨年の8月には初の試みとして『一群同級会』と銘打ち、四日市南高校と同日に同窓会を開催しました。2次会では、中学校別のテーブルをセッティングして大いに盛り上がりました。

長男は一昨年に大学院を修了し、今は大阪で働いています。高校時代はとても良い友人に恵まれたようです。私同様、息の永いお付き合いが続けばと思っています。